

全国

ぜんこく  
しぎかいじゅんぽう

平成28年  
(2016年) 6月5日

第1978号

毎月3回5の日に発行  
(購読料は会費に含む)

定価 1部20円

発行 全国市議会議長会

〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-4-2  
代表 TEL 03(3262)5234  
旬報 TEL 03(3262)2309  
発行人 井原 好英

http://www.si-gichokai.jp

# 市議会旬報

## 第203回理事会を開催

全国市議会議長会(会長 岡下勝彦・高松市議会議長)



【副会長】

挨拶する岡下会長



田中守・副会長  
(上尾市)



犬飼信雄・副会長  
(松本市)



永田雅紀・副会長  
(広島市)



尾崎方哉・副会長  
(和歌山市)

は5月30日、全国都市会館で第203回理事会を開催した。岡下会長の挨拶では、平成28年熊本地震、地方一般財源総額、地方創生、東日本大震災に触れた後、議会の権能強化については、「議長への議会招集権の付与、地方議会議員の法的位置付けの明確化などについて今後とも、早期実現を図る」とした。

役員補欠選任では、当該部

会から推薦された①副会長(4名)②監事(3名)を選任した。新たに選任された役員は①副会長(定員6名中4名)②犬飼信雄・松本市議会議長、田中守・上尾市議会議長、尾崎方哉・和歌山市議会議長、永田雅紀・広島市議会議長③監事(定員3名中3名)

佐藤忠久・横手市議会議長、影山正直・富士市議会議長、石川彰宏・香美市議会議長。続いて、池田憲治・内閣府地方分権改革推進室次長から「地方分権改革における提案募集方式」と題する説明があった。

協議では、「第92回定期総会の運営について」「第92回



佐藤忠久・監事  
(横手市)



影山正直・監事  
(富士市)



石川彰宏・監事  
(香美市)



会議の様

定期総会会長提出議案について」を了承した。会長提出議案は①「地方創生の推進に関する決議(案)」②「地方創生の充実確保に関する決議(案)」③「平成28年熊本地震からの復旧・復興に関する決議(案)」④「東日本大震災からの復旧・復興に関する決議(案)」の4

6月5日現在の都市数  
813団体

うち	
指定都市	20市
中核市	47市
施行時特例市	37市
一般市	686市
特別区	23区

件。③を了承した後、被災市議会を代表して、澤田昌作・熊本市議会議長から、支援に対するお礼と「1日も早い復興と市民生活の安心・安全を目指し、全力を尽くす」旨の挨拶があった。

その他では、事務局から、第11回全国市議会議長会研究フォーラムin静岡を10月19日・20日に静岡市のグランシップ(静岡県コンベンションアーツセンター)で開催することを報告。栗田裕之・静岡市議会議長から、開催の案内と参加のお願いがあった。

# 国と地方の協議の場が開催

国と地方の協議の場(平成28年度第1回)が5月23日、首相官邸で開かれ、村田進洋



協議の場の模様

・本会副会長(水戸市議会議長)ら地方六団体の各代表が出席した。

協議事項は①「骨太の方針」の策定等②一億総活躍、地方創生及び地方分権改革の推進について。

会議冒頭、安倍晋三・内閣総理大臣から「地方創生は本格的な事業展開の段階に入る。また、地方分権改革にも終わりはなく、地方の発意による地方創生や分権改革が力強く推進されるよう、しっかりと後押しする」などの挨拶があった。続いて、地方六団体を

代表し、上田清司・全国知事副会長(埼玉県知事)から「少子化対策については、子どもの貧困対策が大事であり、教育費の負担軽減が必要。地方創生では、危機対策の面でも、東京一極集中の是正が必要。企業収益の拡大や雇用の増加という好循環をより確かなものにするため、国・地方が連携・協力することが重要」などの挨拶があった。

①について、石原伸晃・内閣府特命担当大臣(経済財政政策)の説明の後、地方六団体の各代表がそれぞれ発言。

村田副会長からは、熊本地震について万全の措置、地方税財政における一般財源総額の充実確保などを要望した(発言要旨は下掲)。高市早苗・総務大臣からは「一般財源総額については、27年6月に閣議決定した経済財政・再生計画で、27年度の水準を30年度まで確保するとしているので、29年度は総額を確保する」などの意見があった。

②について、加藤勝信・一億総活躍担当大臣、石破茂・内閣府特命担当大臣・まち・ひと・しごと創生担当大臣の説明の後、意見交換を行った。

なお、地方六団体は、①「国と地方の協議の場(ポイント)」(一部カラー)の図表あり)②「平成29年度の地方税財政について」③「地方創生、地方分権改革及び一億総活躍について」の各文書を資料として、あらかじめ提出している(各文書の項目のみの抜粋は左掲)。地方六団体提出資料など当日の会議資料は内閣官房ホームページ(<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kyouginhaha/>)に掲載されている。後日、国会報告と議事録も掲載される。

※村田副会長発言要旨  
熊本地震の被災者救援と復旧・復興対策について、東日本大震災への対応も踏まえ、万全な措置を講じられたい。地方財政は、28年度に5兆6

000億円もの財源不足が生じている。社会保障関係費の増大や地域の防災、安全対策、地域経済の振興など地域の活性化対策に的確に対応していくため、安定した地方税財源が必要である。地方税、地方交付税などの一般財源総額の充実確保をお願いする。

地方創生推進、人口減少対策、地域経済、雇用対策などへの取り組みを確かなものとするため、必要な歳出を別枠で地方財政計画に計上するなど、地域の実情を踏まえた措置を引き続き講じられたい。

地方交付税については、財源保障機能と財政調整機能の両機能が引き続き適切に発揮できるよう総額を確保し、地方財源不足の補填は、地方交付税の法定率の引き上げを含め抜本的に見直されたい。

## 国と地方の協議の場(ポイント)

1. 少子化対策の抜本強化
2. 高齢者施策の更なる推進
3. スポーツ・文化・観光施策への十分な財政措置
4. 地方一般財源及び地方交付税の総額確保
5. 熊本地震及び東日本大震災からの復旧・復興と防災・減災対策の推進

## 平成29年度の地方税財政について

- ・地方創生から日本創成へ
- ・地方創生推進交付金等の弾力的な運用
- ・地方の安定的な財政運営に必要な地方一般財源総額の確保
- ・地方交付税の財源保障機能の確保
- ・地方創生の基盤となる税財源の確保
- ・熊本地震への迅速な支援
- ・東日本大震災からの速やかな復旧・復興
- ・防災・減災対策の推進
- ・教職員定数と財源の充実確保、地方大学等の運営基盤の充実
- ・地域医療介護総合確保基金の確保
- ・T P P協定への対応

## 地方創生、地方分権改革及び一億総活躍について

### I 地方創生の更なる推進による一億総活躍社会の実現

- 1 少子化対策の抜本強化
  - ・子育てに係る経済的負担の大胆な軽減
  - ・待機児童解消に向けた積極的な取組の推進
  - ・子ども・子育て支援新制度に必要な財源確保と更なる質の向上
  - ・地域少子化対策重点推進交付金の恒久化と弾力的な運用
  - ・子どもの貧困対策等の抜本強化
- 2 介護サービス基盤の確保
  - ・介護サービス基盤の整備の推進
  - ・介護人材の確保
- 3 地域経済の再生と雇用創出の強力な推進及び人材育成と若者の就労支援の強化
  - ・地方への企業移転促進と新分野の企業支援等による地域経済の再生
  - ・農林水産業・農山漁村の再生に向けた取組の強化
  - ・雇用環境の改善・女性の活躍推進
- 4 国家戦略としての政府関係機関の地方移転
  - ・地方移転の早期実現
  - ・数値目標化と検討の継続
  - ・移転経費の負担のあり方
- 5 地方への移住定住政策の加速
  - ・地方への移住定住や二地域居住の促進
  - ・地方大学等の運営基盤の充実
- 6 地域資源の国内外への発信
  - ・東京五輪に向けた地方の取組支援
  - ・国による情報発信等の充実
  - ・訪日外国人旅行者に対する取組支援
- 7 多極型・多軸型国土の形成
  - ・地方創生を支える基盤の地域間格差是正
  - ・国土軸の複線化・多軸型国土の形成
- 8 地方創生に必要な財源の確保
  - ・「まち・ひと・しごと創生事業費」の拡充
  - ・地方創生推進交付金等の弾力的な運用

### II 地方分権の着実な推進

- ・利用者の視点に立ったハローワークの制度設計
- ・提案募集に対する積極的な対応
- ・更なる権限移譲、義務付け・枠付けの見直し
- ・地方分権の趣旨に根ざした規制改革

# 基地協が役員会を開催(於・鹿屋市)

全国市議会議長会基地協議会(会長 市岡博道・佐世保市議会議長)は5月19日、鹿



基地協会長  
市岡博道(佐世保市)

屋市で正副会長・監事・相談役会を開催した。

市岡会長の挨拶の後、下本地隆・鹿屋市議会議長が開催市議長として挨拶。続いて、開催市市長として、中西茂・鹿屋市長から挨拶があった。会議では、①基地対策関係施策の充実強化に関する要望(案)②基地関係国会議員と

の情報連絡会における世話役選出の基本的な考え方(案)③今後の会議・要望活動日程(案)④要望活動の班編成⑤平成28年熊本地震に関する緊急要請(案)1について協議している。このうち①については、7月5日に開催する第85回理事事に原案の通り提案することを決定。⑤については、原案の通り決定し、5月23日に政府・与党の要職者に要請書を提出している。

## 議会人事

### 議長

▽伊賀 北出忠良(4・15)

▽三次 亀井源吉(4・28)

▽坂井 伊藤聖一(5・9)

▽桜井 我妻 力(5・9)

▽土佐 黒木 茂(5・9)

▽砺波 今藤久之(5・10)

▽相生 三浦隆利(5・10)

▽大和高田 沢田洋子(5・10)

▽富津 平野明彦(5・11)

▽藤枝 水野 明(5・11)

▽豊川 太田直人(5・11)

▽常滑 相羽助宣(5・11)

▽美濃 佐藤好夫(5・11)

▽宇陀 井谷憲司(5・11)

▽八幡平 古川津好(5・12)

▽大垣 川上孝浩(5・12)

▽大船渡 熊谷昭浩(5・13)

▽太田 木村康夫(5・13)

▽袋井 永田勝美(5・13)

▽豊橋 坂柳泰光(5・13)

▽蒲郡 喚田孝博(5・13)

▽江南 鈴木 貢(5・13)

▽北名古屋 沢田 哲(5・13)

▽高石 森 博英(5・13)

▽大坂狭山 片岡由利子(5・13)

▽笠岡 栗尾順三(5・13)

▽三好 山子凱雄(5・13)

▽出水 田頭良成(5・13)

▽真岡 柴 惠(5・16)

▽名古屋 加藤一登(5・16)

▽一宮 渡辺之良(5・16)

▽半田 澤田 勝(5・16)

▽碧南 杉浦哲也(5・16)

▽鈴鹿 後藤光雄(5・16)

▽中津川 大堀寿延(5・16)

▽大津 鷲見達夫(5・16)

▽明石 深山昌明(5・16)

▽府中(広島) 丸山茂美(5・16)

▽新居浜 近藤 司(5・16)

▽福井 皆川信正(5・17)

▽豊田 近藤光良(5・17)

▽四日市 川村幸康(5・17)

▽門真 土山重樹(5・17)

▽たつの 桑野元澄(5・17)

▽国東 唯有幸明(5・17)

▽上越 内山米六(5・18)

▽杉並 井口かつ子(5・18)

▽春日井 林 克巳(5・18)

▽高浜 杉浦敏和(5・18)

▽池田 馬坂哲平(5・18)

▽高槻 橋本紀子(5・18)

▽枚方 大塚光央(5・18)

▽寝屋川 北川光昭(5・18)

▽大東 寺坂修一(5・18)

▽四條畷 長畑浩則(5・18)

▽坂出 若杉輝久(5・18)

▽宇城 入江 學(5・18)

▽副議長

▽豊前 尾澤満治(4・11)

▽伊賀 上田宗久(4・15)

▽三次 新家良和(4・28)

▽坂井 古屋信二(5・9)

▽桜井 井戸良美(5・9)

▽土佐 森田邦明(5・9)

▽延岡 佐藤 誠(5・9)

▽砺波 島崎清孝(5・10)

▽相生 渡邊慎治(5・10)

▽大和高田 泉尾安廣(5・10)

▽大和 大滝国吉(5・11)

▽村上 岩本 朗(5・11)

▽藤枝 杉山猛志(5・11)

▽豊川 榊原洋二(5・11)

▽常滑 成田勝之(5・11)

▽美濃 庄司義廣(5・11)

▽宇陀 上田 徳(5・11)

▽福山 宮地徹三(5・11)

▽八幡平 渡辺義光(5・12)

▽大垣 日比野芳幸(5・12)

▽三原 中村芳雄(5・12)

▽大船渡 紀室若男(5・13)

▽南足柄 滝本妙子(5・13)

▽太田 大島正芳(5・13)

▽袋井 村松 尚(5・13)

▽豊橋 豊田一雄(5・13)

▽犬山 吉田鋭夫(5・13)

▽蒲郡 松本昌成(5・13)

▽江南 伊神克寿(5・13)

▽豊明 近藤善人(5・13)

▽北名古屋 渡邊幸子(5・13)

▽高石 宮口典子(5・13)

▽大阪狭山 井上健太郎(5・13)

▽笠岡 原田てつよ(5・13)

▽三好 三木和弘(5・13)

▽高松 西岡章夫(5・13)

▽出水 榎園 隆(5・13)

▽真岡 荒川洋子(5・16)

▽三島 藤江康儀(5・16)

▽名古屋 福田誠治(5・16)

▽一宮 横井忠史(5・16)

▽半田 久吉孝宏(5・16)

▽新発田 青木孝夫(4・1)

▽杉並 北風 進(4・1)

▽太田 石川秀之(4・1)

▽久喜 若山忠司(4・1)

▽半田 小野田靖(4・1)

▽伊賀 百田光礼(4・1)

▽八尾 小田泰造(4・1)

▽大東 木村吉男(4・1)

▽加古川 名生陽彦(4・1)

▽防府 岩田康裕(4・1)

▽阿南 越久村仁司(4・1)

▽国東 村井正彦(4・1)

▽出水 志柿隆久(4・1)

▽西之表 濱尾 実(4・1)

▽垂水 篠原輝義(4・1)

▽小諸 土屋裕一(5・17)

▽大府 末廣昭一(5・18)

# 自治体病院議員連盟が総会を開催

自治体病院議員連盟(会長 細田博之・衆議院議員)の総会が、5月17日、都市セクタールホテルで開かれた。加藤治吉・全国自治体病院経営都市議会協議会会長(磐田市議会議員)、菊田隆・同協議会副会長(盛岡市議会議員)が出席した。



挨拶する細田連盟会長(右は森幹事長、左は議事進行を務めた谷事務局長)

会議冒頭、細田連盟会長から「医師・看護師不足に対応しなければならぬが、新専門医制度が医師不足の原因に



要望する加藤病院協会長

なるのではないか。この会議では、地元の事情を踏まえ、十分に議論を展開されたい」などの挨拶があった。



菊田病院協会副会長

・要望を述べた。続いて、加藤病院協会長、邊見公雄・全国自治体病院協議会会長と要望した。

関係団体からの要望聴取では、はじめに、西川一誠・全国自治体病院開設者協議会会長(福井県知事)から、自治体病院の役割を述べ、①地域医療構想の実現のための支援②新専門医制度への対応③がん医療提供体制の充実④財政支援⑤被災した自治体病院への支援⑥消費税制度の改善について、現状を説明の上、要望した後、井戸敏三・同協議会会長(兵庫県知事)から、新専門医制度について、意見

加藤病院協会長からは①経営安定化対策の強化②医師不足・偏在の早期解消③の2点に絞って要望している(下掲)。その後、要望に対し、総務省、厚生労働省、文部科学省から回答があった。決議では、29年度から開始が予定されている新専門医制度について、実施の延期を含め、再考を求める決議(塩崎恭久・厚生労働大臣宛)を満場一致で了承した。最後に、森英介・議連幹事

長(衆議院議員)から「新専門医制度についての決議も了承してもらえた。今後も、細田会長の下、自治体病院のために努力を重ねていきたい」などの挨拶があった。

なお、会議では、赤枝恒雄・衆議院議員、磯崎陽輔・参議院議員、神谷昇・衆議院議員、三ツ林裕巳・同、大隈和英・同、津島淳・同、佐藤ゆかり・同から発言があった。

## 【自治体病院議員連盟】

▽会長 細田博之(衆議院議員)▽幹事長 森英介(同)▽事務局長 谷谷一(同)▽顧問 津島雄二(前会長)▽会員(会長・幹事長・事務局長・顧問除く) 衆・参議院議員 120名

## 全国自治体病院開設者協議会が総会を開催

―加藤病院協会長が出席

全国自治体病院開設者協議会(会長 西川一誠・福井県知事)の平成28年度定時総会が5月17日、都市セクタールホテルで開かれ、加藤治吉・全国自治体病院経営都市議会協議会会長(磐田市議会議員)が来賓として出席した。本会、

## ※加藤病院協会長要望要旨

2点に絞って要望する。1点目は、経営安定化対策の強化について。地域医療の中核を担う自治体病院の経営安定のためには、特に、へき地医療、高度・特殊医療、周産期医療、小児医療、救急医療などに対する財政措置のさらなる拡充強化が必要不可欠であるので、よろしくお願したい。

2点目は医師不足・偏在の早期解消について。医療従事者の確保、地域偏在対策については、厚生労働省の検討会で議論されているが、特に、医師の偏在について、病院・診療所などの施設や、小児科・産婦人科などの診療科にお



祝辞を述べる加藤病院協会長

全国都道府県議会議員会、全国町村議会議員会を代表して、加藤病院協会長から、全国の



病院議連総会の模様

ける医師の勤務環境、医師数の現状などを踏まえ、地域間の医師配置の格差解消に向け、適切かつ万全の措置を講じられたい。

自治体病院関係者と一致団結し、地域医療の確保を図るため、全力を挙げて取り組む姿勢を示した上で、参集者の健勝・活躍、開設者協議会の発展を祈念する祝辞を述べた。定時総会では、決議を決定。27年度決算、28年度予算案などを承認し、役員改選により、会長に西川知事を再任している。